

2. 景観計画の区域

【法第8条第2項第1号関係】

景観計画区域は、景観行政を実施すべき区域のことを指します。地域の景観を形成している地形・自然・歴史・文化等の景観に関する資源や現在の景観形成上の課題を踏まえ、設定します。

本市は、全域にわたり豊かな自然や田園をもち、7つの地域はそれぞれ特有の地域資源があります。こうした景観の特性を活かしながら、一体的な景観づくりを進めていく必要があると考えています。

以上のことから、**景観計画の対象範囲を市全域**とし、景観法第8条第2項第1号に規定する景観計画区域とします。

また景観計画区域は、景観類型の「自然景観」「田園景観」「市街地景観」に対応するよう区分を設け、このエリアは届出対象行為の対象エリアとします。

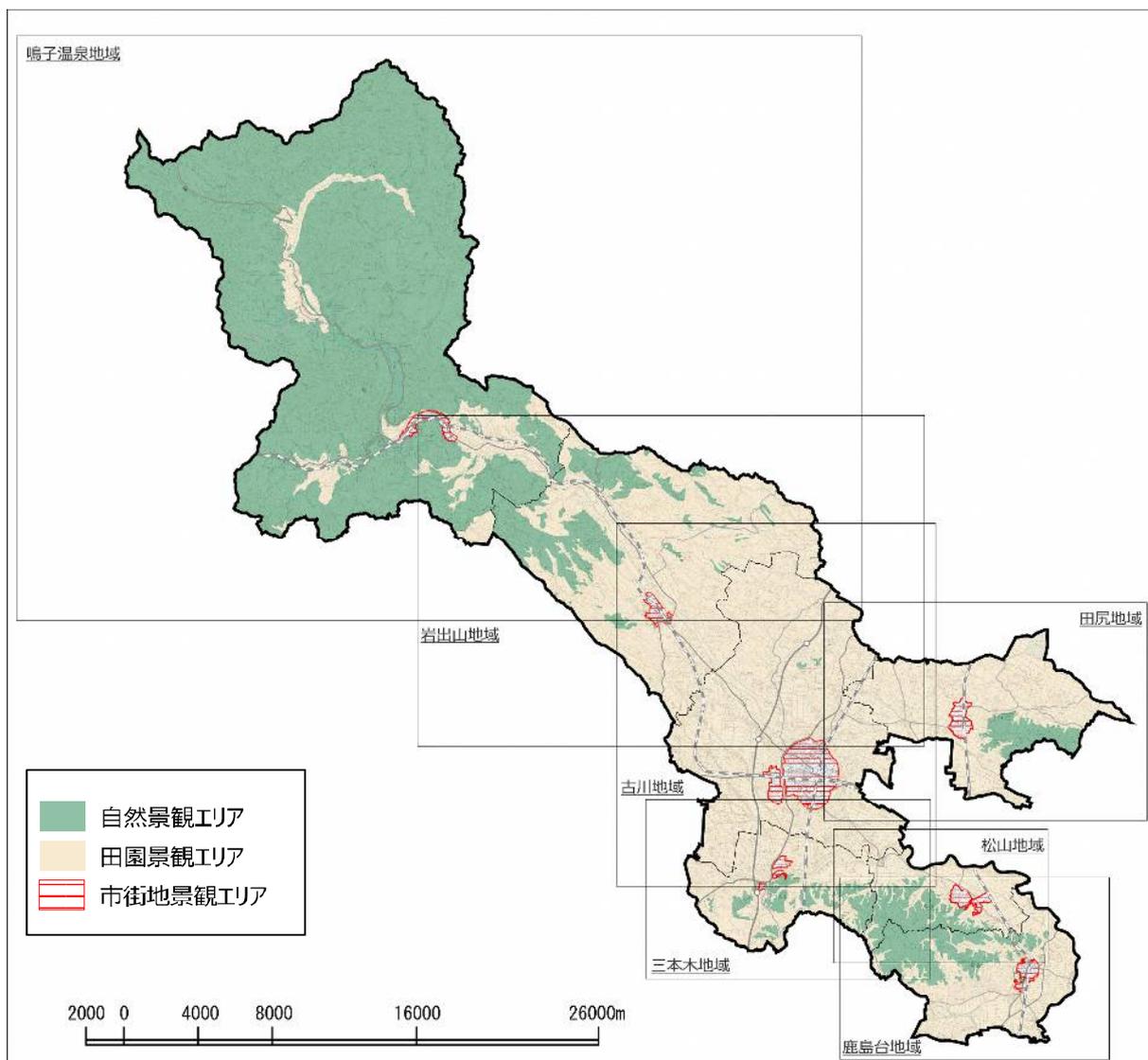
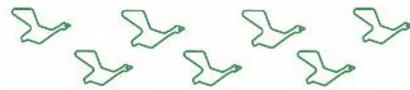
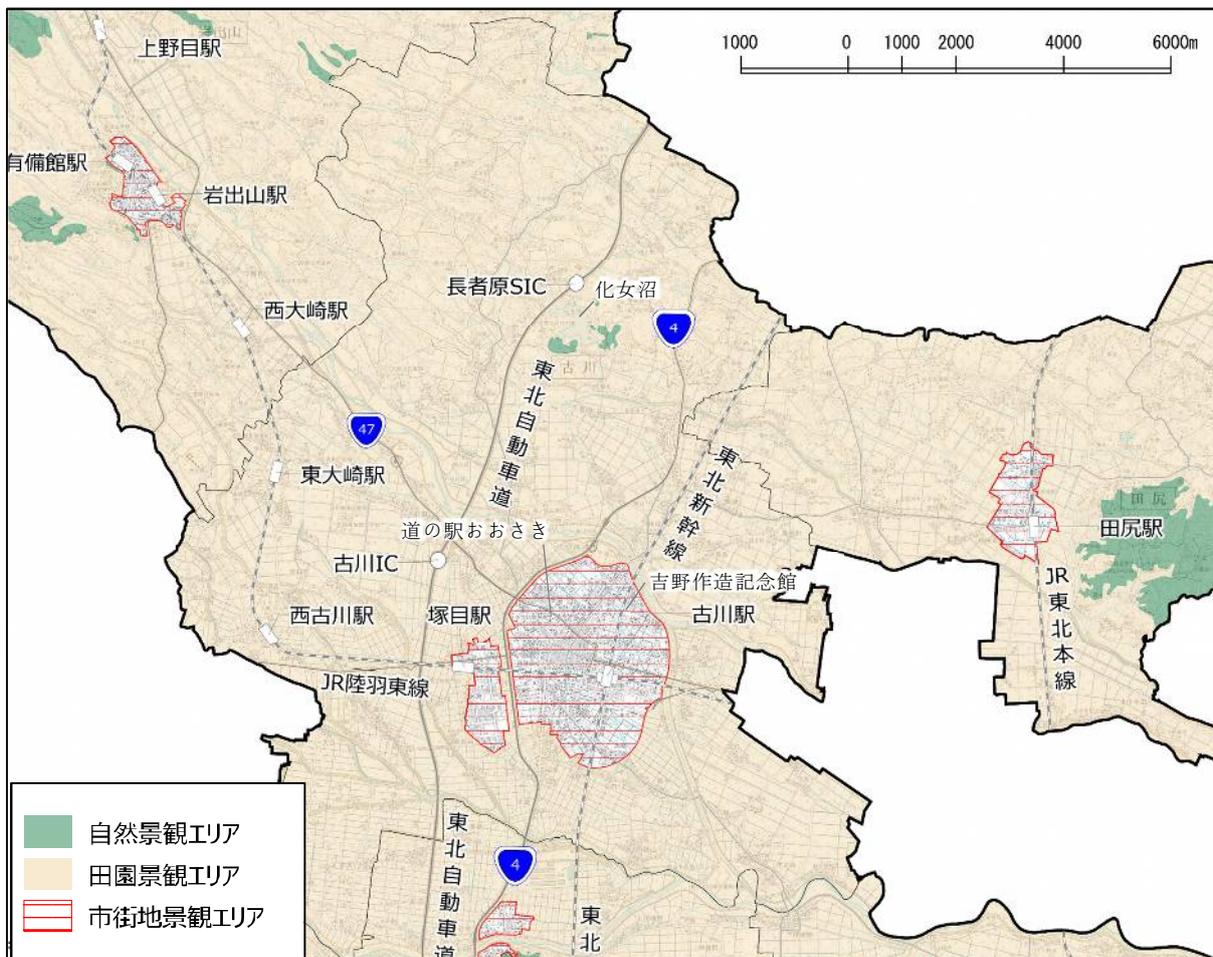


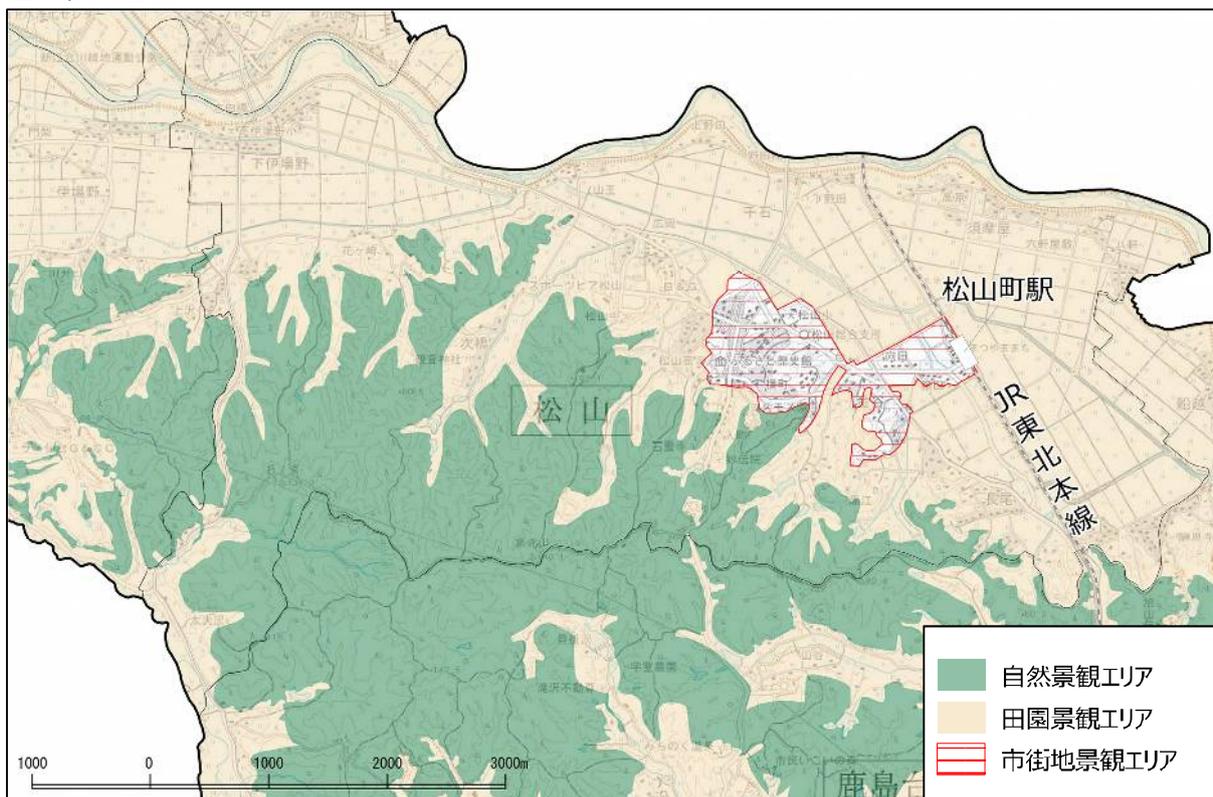
図 景観エリアの区分



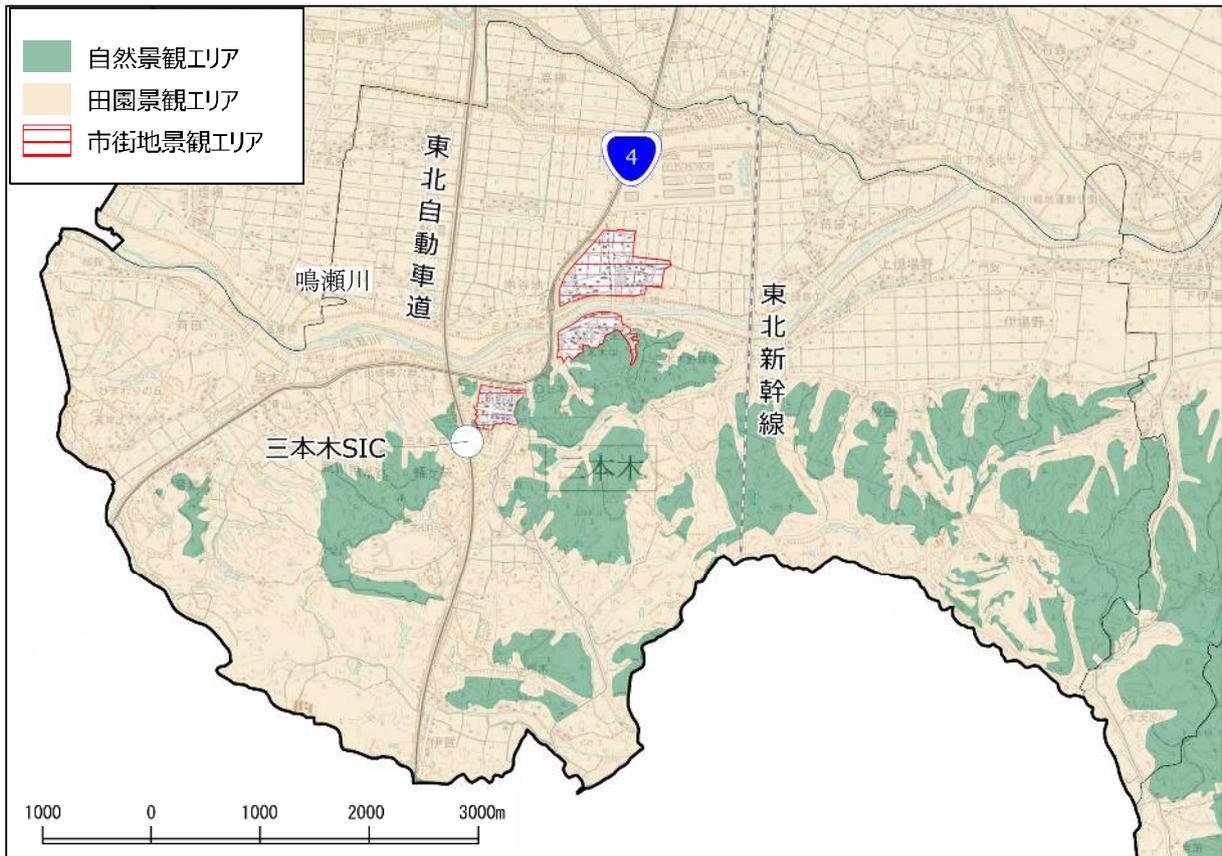
■ 古川地域



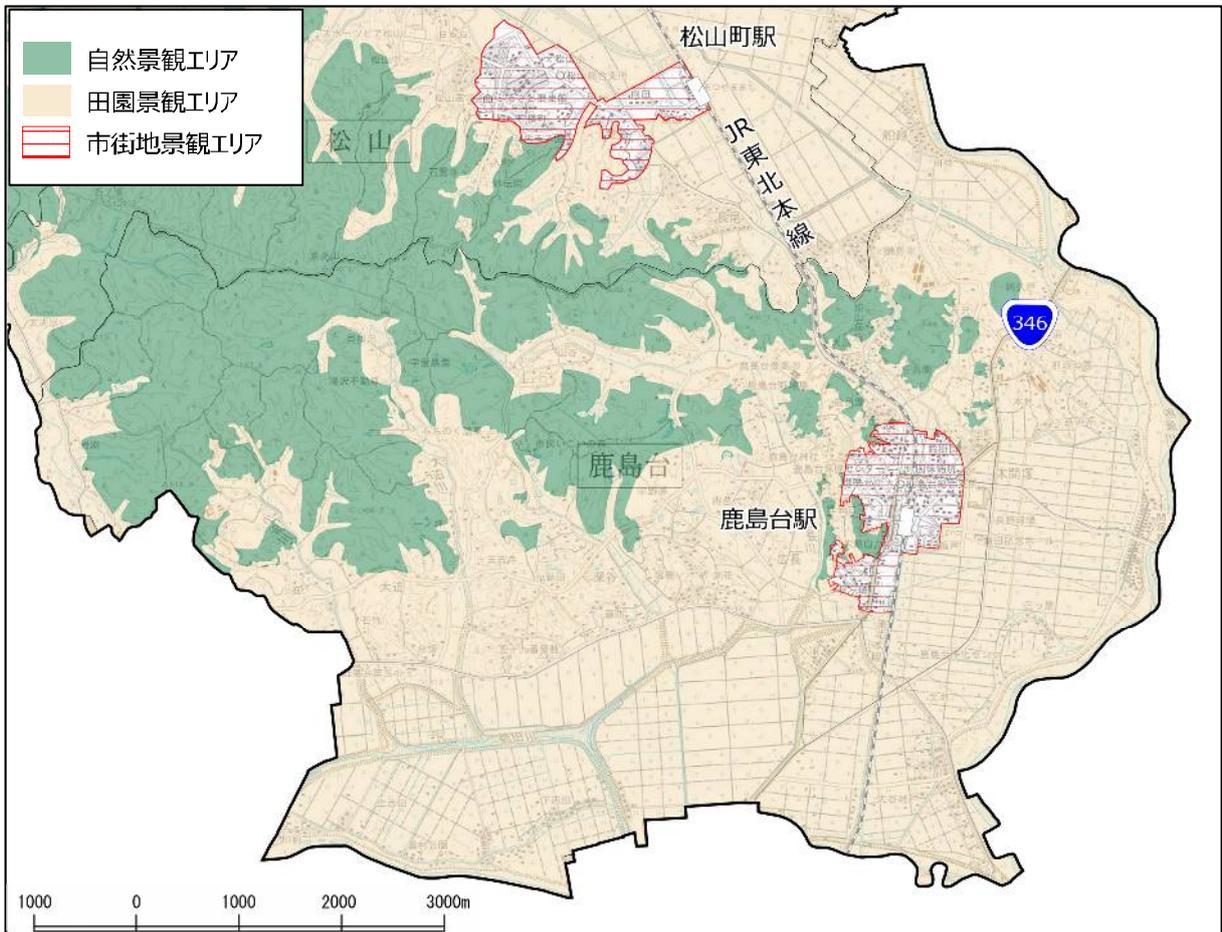
■ 松山地域



■ 三本木地域

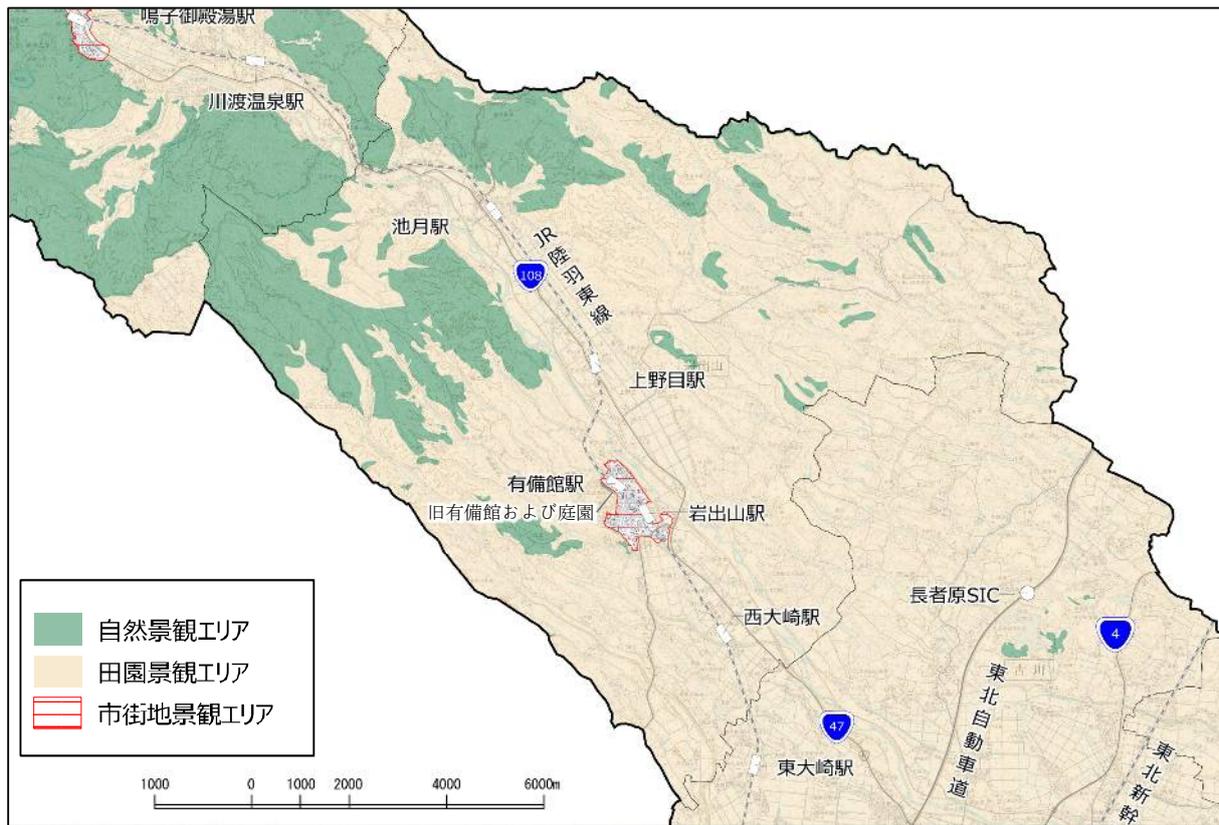


■ 鹿島台地域

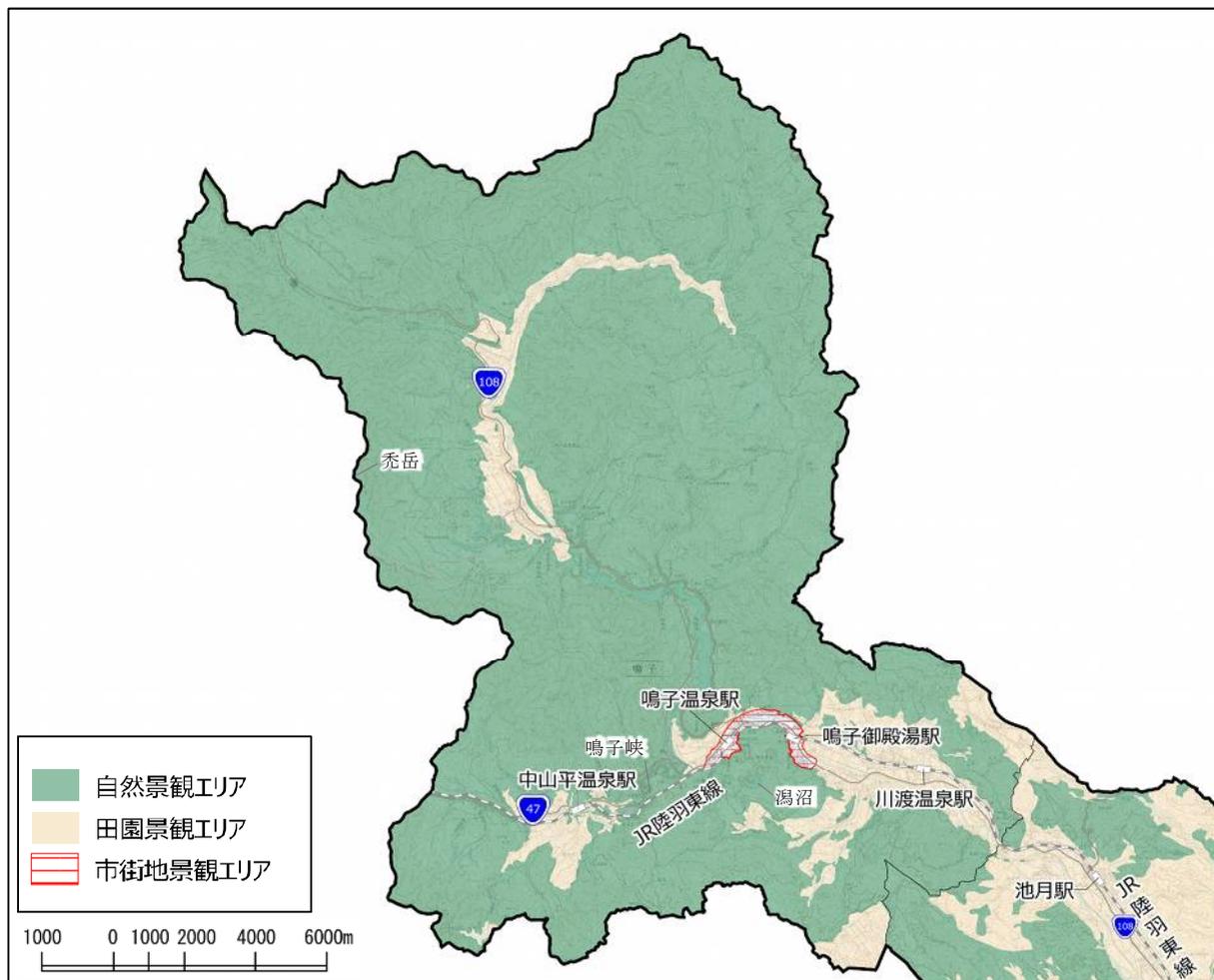




■ 岩出山地域



■ 鳴子温泉地域



■ 田尻地域

